

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	電気電子材料(Electric and Electronic Materials)		授業コード	C179251
担当教員名	島元 世秀		科目ナンバリングコード	J20303
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期	
必修・選択区分	機械工学コース:選択 自動車・メカトロニクスコース:選択 必修 情報電子・電気工学コース:選択 必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	「電子物性基礎」を受講していると受講内容が理解し易くなります。			
受講心得	電気電子材料は新しい材料の出現に対応できる学ぶ姿勢が大切です。受講する際は講義用ノートと復習用ノートの二冊準備して下さい。			
教科書	電気・電子材料 日野太郎, 森川鋭一, 串田正人(森北出版株式会社)			
参考文献及び指定図書	電気物性学 酒井善雄 山中俊一 共著 (森北出版株式会社) 新版電子物性 松澤剛雄, 高橋清, 斉藤幸喜(森北出版株式会社) 電子・光材料 基礎から応用まで 澤岡 昭(森北出版株式会社)			
関連科目	電子物性基礎、半導体工学、光エレクトロニクス			

授業の目的	電気電子工学分野における技術革新は材料の開発・改良によるところが大きい。既存の材料の理論的位置づけを行い、また将来の新材料の出現に対して応用ができるよう、量子化の概念及び電気電子材料に対する基礎知識の修得を目的とします。
授業の概要	電気電子工学分野における既存の材料の理論的位置づけを学び、また新材料である電気電子材料に対する基礎、応用知識を修得します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：電気・電子材料の物性と電気電子材料の例</b> 原子構造(ボーアの模型と水素原子)、原子内の電子配列 化学結合(イオン結合、共有結合、ファンデル・ワールス力)、水素結合、金属結合) 構造材料、機能材料	復習
<b>第2週：結晶と電気材料開発の歴史</b> 結晶の種類、結晶構造、結晶による回折、反射、結晶の方向、ミラー指数、逆格子、格子振動、格子欠陥	予習・復習
<b>第3週：電気電子材料と物理効果</b> 熱力学と統計力学、統計の種類とその分布関数 帯理論(金属内の自由電子、帯理論、ブリルアン帯と逆格子、帯構造からみた導体、絶縁体、および半導体)、超伝導材料におけるジョセフソン効果やマイルスナー効果、光記憶材料における磁気光学効果、半導体材料におけるトンネル効果、光学材料における電気光学効果	予習・復習
<b>第4週：導体と元素の周期律</b> 金属中の電気伝導、金属の化学組成と電気伝導、金属接触面における電気伝導、金属導電材料の特性、電線とケーブル、常伝導材料として用いられている遷移元素、半導体材料として用いられているIV族元素、III-V族元素、II-VI族元素。レーザー材料として用いられている稀土類元素や鉄族遷移元素等	予習・復習
<b>第5週：超伝導材料と抵抗材料、電子の性質</b>	

超電導材料(超電導現象、超電導状態と磁界、超電導の反磁性、セラミックス系超電導材料) 抵抗材料(電流による抵抗体の発熱、金属の電気抵抗と温度、合金の電気抵抗、抵抗材料)、電子は粒子性と波動性という二重性を有しており、電気材料としての性質に反映している。電子を照射して回折が起こるなど電子の二重性を表す実験例や、実験例を記述する理論等を学ぶ。	予習・復習
<b>第6週：半導体材料(1)と水素類似原子</b> 半導体と半導体素子、半導体の帯構造と電気伝導、整流作用、整流理論 水素類似原子、電子軌道:主量子数 $n$ 、方位量子数 $l$ 、磁気量子数 $m$	予習・復習
<b>第7週：半導体材料(2)、半導体材料の基礎</b> pn接合、トランジスタ、半導体における光電効果、半導体材料は結晶から構成されており、結晶は規則的に配列した格子点からなっている。従って、結晶内のポテンシャルエネルギーは周期的である。そのような結晶内に存在し周期的な影響を受ける電子についてその振る舞いを考える。	予習・復習
<b>第8週：半導体材料(3)、ブロッホの定理</b> 半導体における熱電効果、熱抵抗効果、電圧抵抗効果、電流磁気効果と磁気抵抗効果、集積回路、孤立原子の原子核のポテンシャルエネルギーから一次元結晶のポテンシャルエネルギーを考え、ポテンシャルエネルギーが周期関数であるとき、電子波の固有関数が周期関数を含む関数で与えられることを学ぶ。一次元モデルを考えた後、三次元に拡張する	予習・復習
<b>第9週：誘電材料(1)、ブリルアン帯</b> 誘電体の巨視的性質、原子及び分子の双極子モーメント、誘電分極、内部電界。電子は結晶の中では波としての性質が現れる。電子波は結晶中を進むとき格子点の周期的な配列によりブラッグ反射を受ける。とびとびの波数位置でエネルギーギャップが生じることによりブリルアン帯が形成されます。還元ゾーンについても考える。	予習・復習
<b>第10週：誘電材料(2)、結晶の構造</b> 交流電界における分極と緩和、誘電材料の特性、立方、正方、菱面体、六方、斜方、単斜、三斜の各晶系と、面心、体心、底心まで考慮した14個のブラベー格子	予習・復習
<b>第11週：誘電材料(3)、逆格子とブリルアン帯</b> 強誘電体、電気伝導、単純立方結晶格子、体心立方結晶格子、面心立方結晶格子について、基本並進ベクトルから逆格子ベクトルを求め、さらに3次元のブリルアン帯の求め方について学ぶ。	予習・復習
<b>第12週：磁性材料(1)、エネルギーバンド構造と物質の性質</b> 磁性材料の巨視的性質、磁性の分類、原子の永久磁気双極子モーメント。ブリルアン帯の電子による満たされ方と電気伝導の関係を考察し、さらにバンドギャップとの関係から電気材料が導体、半導体、絶縁体に分類できることを学ぶ。一般に、1原子あたりの電子数が奇数であれば金属に、偶数であれば絶縁体または半導体になる。	予習・復習
<b>第13週：磁性材料(2)、光デバイス材料</b> 各種磁性、磁区と磁化、磁性材料特性。発光デバイス、受光デバイス、光制御デバイス、レーザー材料について学ぶ。レーザー材料には気体レーザー材料、固体レーザー材料、色素レーザー材料がある。気体レーザー材料にはHe-Ne系、希ガスイオン系、金属蒸気系、赤外気体レーザー材料、化学レーザー材料、エキシマーレーザー材料等がある。固体レーザー材料には稀土類イオンや鉄族イオンがある。	予習・復習
<b>第14週：電気・電子材料試験、光ファイバー材料</b> 導電材料試験、半導体材料試験、固体絶縁材料試験、絶縁材料の劣化試験法、磁性材料試験。光ファイバーの構造と分類に触れ、光ファイバーの損失要因について考察するとともに、光ファイバー開発の歴史を述べる。光ファイバーは、屈折率の分布によりグレーデッドインデックスファイバーとステップインデックスファイバーとに、また、コア径により、マルチモードファイバーと単一モードファイバーとに分類される。	予習・復習
<b>第15週：確認テスト及び解説</b> 電卓を必ず持参	
<b>第16週：期末試験</b>	

授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考	電卓, 筆記用具(定規, 三角定規, コンパス等), 講義用ノート, 復習用ノートが必要です。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	1.電気電子材料の基礎的理論が理解できる。 2.電気電子材料の基礎応用的理論が理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	電気電子材料の種類が分別ができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	15点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	出席及び講義用と復習用ノート並びに光学分光器等の技術習得状態を考慮します。